

造血器腫瘍に対する遺伝子改変細胞療法の開発 に関する研究のお知らせ

研究に関するお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年 7月 13日 ～ 2025年 3月 31日

〔研究課題〕 造血器腫瘍に対する遺伝子改変細胞療法の開発

〔研究目的〕

この研究は、白血病などの造血器腫瘍に対する遺伝子改変細胞を用いた新規治療法を探索するための研究です。キメラ抗原受容体（CAR）を遺伝子改変にて発現するようになった免疫細胞は、白血病細胞などの腫瘍細胞に発現している抗原を特異的に認識して攻撃します。本研究では、新しい抗原を見つけたり、より効果的で副作用の少ない、CARになるような改良を行ったりして、CAR 発現免疫細胞の効果を基礎研究レベルで確認することが目的です。

〔研究意義〕

本研究によって、白血病や多発性骨髄腫に対する新たな治療が開発される可能性があります。

〔対象・研究方法〕

帝京大学病院血液内科で治療を受けた、あるいは受けている白血病患者さんや多発性骨髄腫の患者さんで現在寛解状態の方が対象です。今まで2012年8月より2023年2月まで、初発急性白血病あるいは多発性骨髄腫に罹患された患者さんの診断のために採取した末梢血、骨髄細胞の余った検体で、すでに保存の承諾を得て凍結保存しているもの60検体を用いてCAR 標的抗原を検索します。その抗原に対する免疫遺伝子療法としてあなたから血液を他の検査の採血をする時に10mLほど多く採血させていただき、CAR 遺伝子を導入し、抗腫瘍効果をみるなどの研究に用いさせていただきたいと考えています。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座 血液腫瘍研究室

〔個人情報の取り扱い〕

頂いた血液などの資料は個人情報のわからない形で使用させていただきます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 准教授 田代 晴子

所属: 帝京大学医学部内科学講座 血液腫瘍研究室

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 31600]